

アスベスト 教育関連施設調査中間結果 文科省



文部科学省が所管する全国の学校や教育関連施設のうち、404 施設 1190 室でアスベスト（石綿）の粉じんが飛散しているおそれのあることが、同省の吹きつけアスベスト実態調査の中間まとめで分かりました。調査の進捗よく率 34%で、危険施設は最終的に 1000 を越す可能性もあります。

調査対象の学校や施設は全部で 16 万 3834 施設。このうち、8 月末時点で調査を終え今回報告されたのは 5 万 5704 施設で、飛散のおそれがあるとされた施設の比率は 0.7%でした。

公立学校では、児童生徒や教員が日常的に利用する教室でも 199 室で飛散の恐れがあることが分かりました。最終結果は 11 月末にまとまる見通しです。

アスベスト分析についてのご相談、ご依頼をお待ちしております。

学校などの石綿使用実態（中間報告分・8 月末時点）

		調査終了	石綿を使用	吸引のおそれ
公立	幼稚園	2,363	22	2
	小学校	9,256	481	77
	中学校	4,041	226	40
	高校	1,112	61	19
	大学・高等専門学校	49	10	3
	盲・ろう・養護学校など	264	17	6
国立(大学、高等専門学校など)		17	5	0
私立(幼稚園から大学)		3,443	352	37
学校合計		20,545	1,174	184
図書館など含む全体		55,704	1,995	404

資料：2005 年 9 月 29 日付 毎日新聞 (MSN-Mainichi INTERACTIVE)

2005 年 9 月 30 日付 日本経済新聞

受注管理箇所 小倉佐知子

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

